

「 桐一葉 日当たりながら 落ちにけり 」高浜虚子

日中の温かさと朝晩の肌寒さに秋の深まりが感じられるようになりました。空気が澄み、山の端がきりっと線を主張しています。2学期も後半、11月です。体調管理に気を付けながら、これまでの成果を確かめていこうと思います。

【修学旅行】

10月26日(木)から27日(金)の1泊2日で、6年生が熊本へ修学旅行に行ってきました。出発する前の週あたりから体調を崩している子ちらほらいて、心配は尽きませんでしたが、旅行中はどの子も元気に過ごすことができ、充実した2日間となりました。

1日目は、まず熊本城へ行き、復活した天守閣を見学するなど、学習を深めました。それから阿蘇へ向かい、熊本地震で落ちてしまった阿蘇大橋を見学したり、草千里ヶ浜で自由散策をしたりして、自然の恐さとすばらしさを感じ取りました。そして、ホテルで温泉に入ったり、美味しい食事をいただいたり、仲間との楽しい時間を過ごしました。

2日目は、グリーンランドへ行き、班活動を守りながら、仲間と協力し合って元気いっばいに遊びました。帰りは、長洲港からフェリーに乗って帰り、余韻に浸りました。

子供たちは、思い出に残る、みんなが楽しい修学旅行にするために、学級で決めた修学旅行のめあて「声」～反応の声・あいさつの声・返事の声・仲間との声の掛け合い・感謝の声・いい言葉の声の掛け合い～をもとに、計画を確認して、声を掛け合って、旅行中のよい生活をつくっていくことができました。

また、私からは、出発前に、①プラス言葉をたくさん使いましょう ②しっかりと人の話を聴きましょう ③誰もが少しだけ我慢しましょう という3つのミッション出していました。修学旅行の一番の学びは、学校ではできない、長崎では体験できないことを体験することです。しかし、熊本城、草千里ヶ浜、グリーンランドなどのその場でしか体験できない学びも大切ですが、公共の場での行動を自分たちで考え判断することも、とても大切な学びとなります。楽しむだけでなくしっかりとした学びをしてほしかったからです。子供たちは、様々な見学場所でマナーを心がけ、その場に合った行動をすることができました。ひと回り、たくましくなったように感じます。



【11月の行事予定】

1日(水)	就学時健診 安全の日
2日(木)	小音会出場学級を励ます会 委員会活動(写真撮影)
3日(金)	文化の日
6日(月)	6年太鼓指導(5・6校時)
7日(火)	5年食育指導(給食時間) スクールカウンセラー来校日
8日(水)	6年太鼓指導(1・2校時) 縦割り班顔合わせ(昼の活動時間)
9日(木)	全校弁当の日 ピースデイ 3・4年小音会出場(午前ブリックホール) チャレンジ検定(国語) クラブ活動(写真撮影)
10日(金)	縦割り掃除開始
13日(月)	校内研究授業(2校時;1年)
14日(火)	5年平和ウォーク 6年太鼓指導(5・6校時)
15日(水)	飽フェス全校練習(昼の活動)
16日(木)	チャレンジタイム(体力) 代表委員会・ボランティア活動
17日(金)	避難訓練(2校時) あくりゅうクラブ
19日(日)	家庭の日
20日(月)	6年太鼓指導(5・6校時) 飽フェス全校練習(昼の活動)
21日(火)	4年食育指導(給食時間)
22日(水)	縦割り遊び(昼休み)
23日(木)	勤労感謝の日
24日(金)	飽フェス全校練習(昼の活動) 飽フェス会場設営(⑤3~6年⑥5・6年)
26日(日)	飽浦フェスタ
27日(月)	代休日
29日(水)	全校集会
30日(木)	チャレンジ検定(算数) 集団下校

【あくりゅうクラブ】

本校では、月に1回程度、金曜日の放課後(15:00~15:30)に放課後子ども教室「あくりゅうクラブ」が開かれています。1・2年生の子供たちが会員です。指導は、元飽浦小保護者の方々などで構成された図書ボランティアのみなさんにご協力をいただいています。10月は、ハロウィーンにちなんだ衣装で、ハロウィーンにふさわしい紙芝居を1つ、絵本を4つ読んでくださっていました。最後は、ゲームもしてもらい、とても楽しい時間を過ごしました。この日参加できた子どもたちは、最後に「トリックオアトリート」と言って、ご褒美シールまでもらい、えがおいっぱいでした。

放課後子ども教室は、放課後の子どもの居場所づくり対策として、長崎市が予算を組んで積極的に進めているものです。本校では、図書ボランティアのみなさんが快くその役を引き受けてくださり、子供たちのために熱心に頑張ってくださいています。また、図書ボランティアのみなさんは、毎週(基本木曜日の午前中)に本校へ来て、季節に合わせた図書室の掲示を行ったり、本棚の整理をしたり、子どもたちの図書ファイルをチェックしご褒美シールを貼ってあげたり、たくさん本を読んでいる子の紹介を玄関に掲示してくれたり、様々なことをやってくださっています。とてもありがたいです。子どもたちの読書意欲を向上させてもらっています。

《校長室の窓から》

「喜びと笑いは、人と人を結びつける」オーストリアの心理学者アルフレッド・アドラーは、こう言っています。「喜びは困難を克服するための正しい表現である。そして、笑いは、喜びと手を取って人を解放し、いわば、この情動の要石となるものである。それは、自分の人格を超え、他者との共感を求める。」

まさに、本校の学校教育目標の根源にあるものではないかと考えます。私たちは、様々な困難に立ち向かっていくとき、周りの支えなしには、共感なしには、なかなか立ち向かっていくことはできないものです。時には、つい意地を張って「誰にも頼らない。」と宣言するときもありますが、実はそういうときでも、こっそり誰かが支えてくれているものです。

子供たちのために、私たち大人のためにも、みんなで力を合わせ、ますます「えがおいっぱい」喜びいっぱいの飽浦小学校をつくっていききたいものです。